



西黒田ふれあいだより

～一人ひとりが共に楽しく、明るく喜びを重ねるまち西黒田～



新年あけましておめでとうございます

これからの時代の「不易」と



平成31年の輝かしい新年を、皆様お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、ふるさと振興会議の諸活動に格別のご理解とご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は7月に西日本豪雨に見舞われ、西黒田地区におきましても、出水のために一部地域で土嚢を積んでいただいたところや圃場の水没もありました。さらに、9月には二つの大きな台風が襲来し、屋根瓦の飛散や農業用ビニールハウスの倒壊など大きな爪痕を残しました。当地域では、110年前（明治42年）の姉川地震の他には、これまで大きな自然災害はなかったと思います。しかし、近年の気候変動や各地で大きな地震が毎年のように発生している状況を鑑みると、「西黒田は安全なところである」と安穩とはしていただけないことも事実です。災害時は、「自助・共助・公助」などと言われますが、「公助」はすぐに手が差し延べられるわけではありません。そこで大切なのは「自助」は当然のことながら、「共助」が重要になってきます。その点、西黒田地区は地域コミュニティーがしっかりと確立されています。顔が見える近所付き合い、人と人のつながりと協力を大切にしている地域性、習慣はこれからも維持継続していく必要があります。

また、これからは少子高齢・人口減少社会となり、これまでの大量生産、大量消費といった右肩上がりの世の中ではありません。住民自治もこれまでのように、「待っていれば行政が何とかしてくれる」時代は終わりました。自分たちで知恵と汗を出し、そのための支援を行政等をお願いしていかなければなりません。そのような意味で住民一人ひとりが町づくりの主役であり、声を出し行動することが求められています。さらに、平成29年度より「公民館」から「まちづくりセンター」へと改称されました。名称の変更だけでなく、その使命も住民自治活動の拠点として重要性が増してきています。

今年の5月より平成から新しい元号となり、時代は大きく変わっていきます。それとともに変化・変革していかなければならない部分＝「流行」と変えてはいけない部分＝「不易」とをしっかりと見極めていくことが肝要であると思います。

皆様の益々のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

西黒田ふるさと振興会議 会長 堀江健二郎



県道大野木志賀谷長浜線 要望活動報告

拡幅改修期成同盟会



三日月知事に要望書を渡す武田会長

平成27年度より路線測量、境界確定、用地買収が進められている第一期拡幅改修事業(1.3km)の工事が、平成33年度に一部着手され、完成までさらに3～5年かかる見込みであるため、(1)第一期事業の早期完成と、(2)残区間(2.6km)の改修事業計画の早期立案を求め、11月30日(金)川島県会議長、上野衆議院議員の芝田秘書、副市長、中嶋、伊藤両市議等とともに県庁に出向き、県土木交通部長、三日月知事に要望を行いました。

今年は、県道が狭いことによる危険な現況をより理解いただくため、「百聞は一見にしかず。」ということで、まちセンの清水プランナーに撮影いただいた、11月14日(水)午後4時頃の南小スクール・バスでの下校状況、翌15日(木)早朝の登校状況の動画を県庁にパソコンを持ち込み、直接県土木部長、三日月知事に見ていただきました。

また、まちセンから熊岡神社までの歩道未整備部分の県道243号線での、県立農業高校生の危険な登下校の状況も併せて見ていただきました。

<回答>

・できる限り要望に沿って努力しますので、引き続き地元の支援・協力体制をお願いします。

西黒田地区で成人式を迎えられる方

祝成人 おめでとうございます

※長浜市に住民票がある方のみ的人数です。

町名	男	女	H31計	H21計	H11計	町名	男	女	H31計	H21計	H11計
八条	0	1	1	7	6	鳥羽上北	1	1	2	2	3
本庄	2	4	6	4	10	鳥羽上南	1	1	2	2	1
本庄新	1	1	2	2	0	名越	0	3	3	1	8
常喜東	0	1	1	2	6	布勢	1	1	2	7	2
常喜西	1	1	2	1	2	小一条	3	0	3	5	1
常喜新	1	0	1	0	1	合計	11	14	25	33	40

(長浜市全体 男性 671名、女性 705名、全体 1,376名)

金太郎の里 西黒田

地域づくり計画

ふれあいだより(12月1日号)で、金太郎の里 西黒田の地域づくり計画の改訂作業が加速していることと、5年後、10年後の各町別の高齢化率と会議風景を(前月号2枚目)でお知らせしました。先月13日の第2回目の計画策定ワーキングでは、西黒田地域のベスト5、ワースト5や新しい部会(地域課題部会、広報公聴部会)の設立の是非について議論が交わされました。

(1) 西黒田のまちベスト5 (西黒田の魅力・自慢できるところ)

- ① 金太郎伝説や後鳥羽上皇ゆかりの地名、神社等豊かな歴史
- ② 地域としてのまとまりがある。
- ③ 地区内に開業医院は無いが近隣(3Km以内)に3つの開業医院、1つの病院があり、2つの総合病院も7.4Km以内(小一条町から日赤まで)にある。
- ④ 地区内に県立長浜農業高等学校、近隣に滋賀文教短期大学、長浜バイオ大学の専門教育機関がある。
- ⑤ JR北陸線田村駅まで5.3Km(八条町から)、長浜駅まで7.8Km(小一条町から)、新幹線のターミナルでもある米原駅まで9.4Km(八条町から)、北陸自動車道長浜インターまで8.0Km(小一条町から)、米原インターまで9.7Km(八条町から)と交通の利便性が高い。

(2) 西黒田のまちワースト5 (西黒田の問題点・課題)

- ① 地域内の稲作中心農業では、生計が維持できず農業後継者がいない。近隣に若者の働く場所が少ない。
- ② 地区内に開業医院が無い。
- ③ 高齢者等の交通弱者の交通手段がない。また、冬場の除雪対応が充分でない。
- ④ 金太郎伝説、後鳥羽上皇のゆかりの地や名超寺、李軒邸等の由緒ある建物の活用が充分できていない。
- ⑤ 地域の特産品がない。里山の整備ができていない。子どもの遊び場がない。



年末大そうじ奉仕作業

12月15日(土)、各町シニア協議員・日赤奉仕団西黒田分団・更生保護女性会西黒田分区・シルバー人材センター西黒田班の皆さんにお手伝いいただき、まちづくりセンター施設内外の草むしり、植木の剪定、窓ふきなどをしていただきました。たくさんの人にご協力いただき、見違えるようにきれいになり、新しい年を迎える準備ができました。ありがとうございました。



新春書初め展 ～西黒田書道部～

西黒田書道部のみなさんによる書き初め展を開催します。是非、ご覧ください。

期 間: 1月15日(火)
～2月5日(火)

場 所: 西里田まちづくり



おらせ

ひょうたんタクシー

(デマンドタクシー)の利用について

(長浜市役所本庁・長浜赤十字病院・JR長浜駅・JR田村駅・アルプラザ・下坂クリニック)が運行可能となりました。利用料金は、通常料金(大人300円)+200円となります。

平成三十年 西黒田文芸同好会秋季句歌会優秀作品

情 歌

蘊奥極め雅趣重ね閑雅の黒田敷く庭
 念願叶えて新居の暮らし苦勞我慢の花が咲く
 長い年月仲良く歩み嬉しい金婚祝う夜
 ゆとり残して一日を過ごす明日のリハビリ頑張り
 晴れの門出を見送る母も嬉しい祝いの貰い泣き
 家族揃って長生き祝うすこく元気な金婚寿
 布衣の交り風雅な余生傾蓋の友得て黒田句座
 長い人生寄り合つて嬉しい八十路の二人連れ
 向こう三軒両隣りとも仲が良いのか秋刀魚焼く
 四季の風情を優雅に咲かす雅の道一途な杖楽し
 月に誘われ虫にも曳かれ秋の嵯峨野に筆の旅
 我慢の舵取り気配り上手笑顔優しい出来た嫁
 耐えた苦勞も年月経てば笑い話で語り合う

(順不同)

俳 句

萩の寺 国宝文化手を拝す
 夏休み声かけ合うて部活の子
 精出して梅干す生甲斐祖母の笑み
 青空を突き抜けていく今年竹
 絢爛の和服映ゆる城紅葉
 老兵は生き続けお終戦日
 三学区ふれ合う心句座涼し
 大の字で軒高らか夏座敷
 久々に里の家路や虫の声
 盆踊り老らくの夢輪の中に
 百歳を夢見て過ごす敬老日

冠 句

仲が良い 黒田の絆雅で結び
 杖ついで 趣味三昧に生く果報
 芯がある 一目間違えた水加減
 杖ついで 高校球児の心意気
 噛み締める 初心の決意悔はない
 良い結果 市政新たに顔揃う
 嬉しい 側においでと誘い水
 仲が良い 喧嘩もしてきた五十年
 仲が良い 新茶で和む老夫婦
 嬉しい 同居の数居軋ませぬ
 すつしりと 圃場に残せる治水の碑
 しみじみと 端溪の海浮かす四季

鳥羽上 廣司
 本庄 是の
 本庄 新山
 布勢 康江
 常喜 喜久患
 鳥羽上 廣司
 常喜 秀峰
 布勢 康江
 本庄 是の
 布勢 敬子
 小一条 とみえ

常喜 秀峰
 常喜 喜久患
 鳥羽上 治
 本庄 是の
 鳥羽上 廣司
 本庄 一成
 常喜 喜久患
 本庄 新山
 常喜 洋園
 布勢 敬子
 本庄 一成
 鳥羽上 治
 常喜 秀峰

鳥羽上 廣司
 本庄 是の
 常喜 秀峰
 鳥羽上 治
 小一条 とみえ
 本庄 新山
 常喜 秀峰
 鳥羽上 治
 本庄 是の
 常喜 洋園
 鳥羽上 廣司
 本庄 新山
 常喜 秀峰



お知らせ・・・まちづくりセンター一年末年始の休館日：12月28日(金)～1月3日(木)